



第 56 回

開催要綱

高知県リハビリテーション研究大会

「介護難民」化にどう向き合うか

～保健・医療・福祉・行政・住民のスクラムをめざし～

～開催趣旨～

現在、2025 年問題、2040 年問題とどう向き合うかが問われている。

2025 年問題とは、ベビーブームの「団塊の世代」（1947～49 年生まれ）がすべて 75 歳以上になることによる医療・介護需要の拡大等に対応する課題を指す。総務省推計では 2020 年の 75 歳以上人口約 1,860 万人（14.7%）が、2025 年には約 2,179 万人（約 18.1%）に増加する見通しである。医療給付費は 2018 年度約 39.2 兆円から 2025 年度約 47.4～48.4 兆円に 1.2 倍化、介護給付費は 2018 年度約 10.7 兆円から 2025 年度約 15.3 兆円に 1.4 倍化することが見込まれている。

2040 年問題とは、1971～74 年の第二次ベビーブームに生まれた「団塊ジュニア世代」が 65 歳～70 歳となる 2040 年には、少子高齢化が進行し、高齢者人口がピークに到達すると同時に、全都道府県で高齢化率が 30%を超え（全国高齢化率は 35.3%と推計）ことで生じる諸問題を指す。2040 年には後期高齢者人口が約 2,239 万人になると推計されているが、医療給付費は 2040 年度約 66.7～68.5 兆円（2025 年度の 1.4 倍）、介護給付費は 2040 年度約 25.8 兆円（2025 年度の 1.7 倍）となるが見込まれている。

厚労省推計（2024 年）によれば、2026 年度は約 240 万人、2040 年度は約 272 万人の介護人材が必要とされているが、それぞれ、2022 年度約 215 万人（現状推移）と比べれば、約 25 万人、約 57 万人の不足が見込まれている。高知県では、2026 年度は 1 万 4,725 人、2040 年度は 1 万 4,938 人の介護人材が必要と推計されているが、それぞれ、2022 年度 1 万 3,967 人と比べれば、411 人、1,984 人の不足が見込まれている。このような状況を迎えるに当たって予防、医療、福祉、行政、住民はどう向き合い、それぞれの役割と連携に取り組むべきかを考える。

◆開催日 令和 6（2024）年 12 月 8 日（日）13:00～16:30

◆会場 高知県立大学池キャンパス大講義室（高知市池 2751 番地 1 号）

【会場・オンライン(ZOOM)併用開催】

◆定員 オンライン：95 名、会場：200 名（先着順）

◆主催 高知県リハビリテーション研究会

～高知県に地域リハビリテーション※の理念を普及させる～

・大会長 宮本 寛（高知県リハビリテーション研究会 会長）

・実行委員長 田中きよむ（高知県リハビリテーション研究会 理事）

◆後援 高知県

◆参加費 会員無料、非会員 1,000 円（学生は無料）

※ オンライン参加の方は、事前にご入金ください。

会場参加の方は、当日、会場でお支払いください。

会員にはつぎの特典がありますので、この機会に是非ご加入ください。

【特典】・オンライン勉強会（年 5 回）の参加費が無料

・オンライン勉強会や研究大会の録画が視聴できる

・理事定例会への参加及び自由発言ができる、会員同士つながる

◆参加方法 下記の URL または、右の二次元コードからお申込み下さい。

<https://rihaken4.wixsite.com/56taikai>



～ URL 及び二次元コードからの申込みが難しい場合 ～

別紙 参加申込書により、11 月 24 日（日）までに、事務局あてに FAX 又は E メールでお申し込みください。お申込み後、非会員のオンライン申込者には、事務局から参加費の振込先口座をメールでお知らせしますので、事前にご入金ください。（原則、ご入金後の返金はありませんのでご注意ください。）

※会場の高知県立大学池キャンパス大講義室の場所は、【副門2】の駐車場から入っていただき、【共用棟】の2階にございます。

<https://www.u-kochi.ac.jp/uploaded/attachment/2927.pdf>

【日程】

- | | |
|-------------|---|
| 12:30～ | 会場受付・ZOOM 入室可能 |
| 13:00～13:10 | 開会
開会挨拶 宮本 寛 （第 56 回高知県リハビリテーション研究大会長） |
| 13:10～14:00 | 基調講演「『介護難民』化の背景・状況と今後の方向」
講師：田中 きよむ（高知県立大学社会福祉学部教授、
高知県リハビリテーション研究会理事） |
| (休憩) | |
| 14:10～16:30 | パネルディスカッション
「介護難民」化にどう向き合うか ―
～保健・医療・福祉・行政・住民のスクラムをめざして～ |
| | ○パネラー
・宮本 寛 氏（南国中央病院長・高知県リハビリテーション研究会長）
・窪田純子 氏（高知県長寿社会課介護予防・地域支援室長）
・荒川泰士 氏（高知県ホームヘルパー連絡協議会会長）
・半田雅典 氏（高知県社会福祉協議会事務局次長兼総合人材センター所長）
・西本久美香氏（NPO ふくしねっと CoCo てらす局長） |
| | ○コーディネーター
・田中きよむ（高知県立大学社会福祉学部教授、高知県リハビリテーション研究会理事） |
| 16:30 | 閉会
閉会挨拶 田中きよむ（第 56 回高知県リハビリテーション研究大会実行委員長） |

※《地域リハビリテーションとは》

障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行なう活動のすべてを言う。（「日本リハビリテーション病院・施設協会」の定義より）

第 56 回高知県リハビリテーション研究大会 参加申込書

* 参加申込 URL 及び二次元コードからの申込みが難しい場合にご使用ください。

	記入例	申込欄
参加方法 (※2)	<u>会場</u> オンライン	会場 ・ オンライン
参加区分	正会員(個人) 賛助会員(団体) <u>非会員</u> 学生	正会員(個人) ・ 賛助会員(団体) ・ 非会員 ・ 学生
フリガナ	コウチ ハナコ	
参加者の氏名	高知 花子	
賛助会員名	賛助会員(団体)の方は、左欄に賛助会員名をご記入ください。	
フリガナ (※3)	アールアイエイチエーハイフンケーイーエヌ@アールアイエイチエーエトットエヌイトットシエヒロー	
E-mail	riha-ken@riha.ne.jp	
電話番号	<u>【自宅】</u> 勤務先、携帯] 088-×××-××××	[自宅、 勤務先、 携帯] — —
勤務先又は学校名 (※3)	デイサービス高知家	
業種	医療、保健、 <u>福祉</u> 、その他	医療 ・ 保健 ・ 福祉 ・ その他 ()
お住まいの都道府県	<u>高知県</u> 、() 都道府県	高知県 ・ () 都道府県
会場参加をご希望の方は、以下の項目にもご記入ください。【非会員のみ】 (※ご記入がない場合、領収証宛名は参加者名で発行いたします)		
領収証の宛名	デイサービス高知家	

※1 上記に記入のうえ、**11月24日(日)まで**に FAX 又は E メールにて事務局までお申込みください。

※2 会場参加は、お申込みの先着順(定員185名)です。オンラインでの参加は、先着90名までとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

※3 E-mail を手書き記入する場合は、フリガナもご記入ください。勤務先は、お構いなくお答えください。

※4 参加申込書により知り得た個人情報は参加管理にのみ使用します。

高知県リハビリテーション研究会事務局

社会福祉法人高知県社会福祉協議会 福祉研修センター(広瀬)
〒780-8567 高知市朝倉戊 375-1 県立ふくし交流プラザ内
TEL 088-844-3605 FAX 088-844-9443
Eメール rihaken@rihaken.sakura.ne.jp
ホームページ <http://rihaken.sakura.ne.jp/rihab/>